

令和2年度 学術研究業績

学会発表

題名	主演者名	学会名
"Guillain-Barre症候群を契機に合併症を重複し重症化した一症例 ～自宅退院を目指す重症患者に対するHCUから在宅までのシームレスな医療の提供～	辻内名央	医療マネジメント学会
当院における認知症ケア回診で扱う問題点と助言の調査	門川泰輔	医療マネジメント学会
反応的姿勢制御の低下が歩行自立を阻害した脳卒中患者一症例	清水凱斗	第32回大阪府理学療法学会
大腿骨転子下骨折術後に褥瘡を罹患した高齢者に対して、段階的に車いすシーティングを行い、標準型車いす坐位獲得に至った一症例 ～股関節可動域と座背角度に着目して～	千葉一貴	第7回日本予防理学療法学会学術大会
心不全症状により運動負荷の決定に難渋した小脳出血一症例 ～組織酸素モニターを用いたリスク管理～	中野佳樹	第7回日本予防理学療法学会学術大会
当院回復期リハビリテーション病棟での脊髄損傷者の改良Frankel分類の調査	宮垣さやか	第32回大阪府理学療法学会
回復期リハビリテーション病棟在棟期間における頸髄損傷者のSCIMの経時的変化	小笠原峻	第32回大阪府理学療法学会
希望施設への転院に向けて車いすシーティングを行った脳損傷の一症例	松本拓也	第32回大阪府理学療法学会
臨床現場における腰痛予防対策の現状と課題～症例を通じた評価と検討の一例～	岡田紗也花	第32回大阪府理学療法学会
ICU-AW症状を呈した一症例に対する急性期から在宅復帰までの長期的な介入	中嶋菜々華	日本集中治療医学会 第4回
ギラン・バレー症候群、Fisher症候群、Bickerstaff脳幹脳炎と横紋筋融解症を合併した症例の長期回復経過	安田由香	第18回日本神経理学療法学会学術大会
COVID-19の影響で面会禁止となった患者家族との情報共有にICTを用いた取り組み	村上達典	第79回公衆衛生学会総会
入院患者家族との情報共有にICTを用いた脳卒中患者3名の報告	村上達典	第7回日本地域理学療法学会学術大会
脳幹・小脳出血後に代償的な姿勢アライメントを呈した一症例	松村彩子	第18回日本神経理学療法学会学術大会
立位姿勢に不安定性を認めた頸髄不全損傷者一症例への介入～立位姿勢調整が歩行能力に及ぼす影響の検討～	小笠原峻	第18回日本神経理学療法学会学術大会
胸髄損傷者の床から車いすの移乗の獲得に影響するプッシュアップ動作の運動学的指標と身体機能の検討	宮垣さやか	第18回日本神経理学療法学会学術大会

当院回復期リハビリテーション病棟における頸髄不全損傷者一症例の退院支援 ～予後予測と回復経過に合わせた目標修正の重要性～	岡田紗也花	第19回日本神経理学療法学会学術大会
シャワーキャリー上での下衣更衣動作獲得に至った胸髄損傷の症例	谷口えりか	北河内ブロック事例検討会
重度麻痺に対し早期から上肢機能に焦点を当て電気刺激を用いて治療した脳幹梗塞の症例	伴征晃	北河内ブロック事例検討会
ウェアラブルセンサを用いた膝関節屈伸運動の滑らかさの定量化：角速度指標を用いた検討	多久和良亮	第47回日本臨床バイオメカニクス学会

論文執筆

題名	著者	雑誌
回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者のADL改善度と在宅復帰の関連性	村上達典	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine

講演

講演題名	講演者	研修会名
歩行動作を考える ①ヒトの歩行動作の特徴	稲村一浩	大阪府理学療法士連盟 第1回Web研修会
歩行動作を考える ②ヒトの歩行動作の神経制御 体幹編	稲村一浩	大阪府理学療法士連盟 第2回Web研修会
歩行動作を考える ③ヒトの歩行動作の神経制御 下肢編	稲村一浩	大阪府理学療法士連盟 第3回Web研修会
文献検索の仕方	浦上慎司	枚方市理学療法士会 新人教育部片麻痺研修会
回復期の歩行治療を考える	松村彩子	枚方市理学療法士会 新人教育部片麻痺研修会
環境適応 急性期を考える	辻内名央	枚方市理学療法士会 新人教育部片麻痺研修会
回復期における歩行アプローチと目標設定	松村彩子	第32回大阪府理学療法士学術大会 シンポジウム1

講義

担当科目		学校名
脊髄損傷の理学療法	宮下創	阪名中央リハビリテーション専門学校
脊髄損傷の理学療法	中嶋菜々華	阪名中央リハビリテーション専門学校
脳卒中の理学療法	稲村一浩	大阪医療福祉専門学校
脳卒中の理学療法	松村彩子	阪名中央リハビリテーション専門学校
脳卒中の理学療法	辻内名央	阪名中央リハビリテーション専門学校
呼吸理学療法	山本准	清恵会第二医療専門学院
呼吸理学療法	辻内名央	清恵会第二医療専門学院